

各校の取組状況（ニーズ把握）について

資料 3

○ニーズの把握方法

	対象	手法	実施主体
1	教職員	毎週末の放課後に実施の職員打合せでの呼びかけ。	校長・教頭
2	教職員	在校中に話ができそうなタイミングを見計らって個人的に聞く。	校長・教頭
3	児童	児童の「知りたい・分きたい」ことの興味関心を把握し、それらに応えるための準備としてアンケートを取る。	学校運営協議会
3	教職員	夏季休業中に各学年主任にヒアリングをした。	地域学校協働活動推進員
4	教職員	打合せ等で、意見を募った。	教頭
5	教職員	学校運営協議会で現状とニーズを把握する。	学校運営協議会委員
6	教職員	・週4～5日ちょこっとでも来校し、先生方と会話する。 ・サポート時や隙間時間に声をかけていただけるので、その際にニーズを把握する。	地域学校協働活動推進員
7	教職員	・わくわくPOST ・学校長、教頭と必要に応じて打合せ時間をいただく。	学校運営協議会会長 地域学校協働活動推進員
8	児童	・サポート時の様子や休み時間、放課後の様子を見て、ニーズを予測する。 ・同、会話を交わす中でニーズを把握する。	学校運営協議会会長 CS(学び交流部会) 地域学校協働活動推進員
9	教職員 学校運営協議会 委員	アンケート等は実施していないが、学校運営協議会で地域と連携した活動を企画立案をする際に、具体的なニーズを把握している。	学校運営協議会

○共有できるニーズ

	カテゴリー	ニーズ内容
1	行事関係	・運動会・授業参観時などの受付。(コロナ禍対応) ・卒・入学式の飾りつけ。 ・校外学習の付添い。
2	授業関係	・学習教材の事前準備。例：1年生「冬のおもちゃ作り」の材料準備・見本作成。 ・総合学習での人材コーディネート。
3	環境整備関係	・昇降口などの暖かく楽しそうな雰囲気づくり。(新学期や学期の変わり目に合わせた飾りつけ等) ・学校環境整備(校内清掃・花壇・学級畑など)
4	居場所づくり関係	・フリースペース(ほっとルーム・スマイルルーム他)の雰囲気づくりと維持管理サポート。 ・放課後の居場所づくり(学び・遊びの場づくり) ・朝ごはんキャンペーンや子ども食堂など地域での生活支援。